

# プロジェクトリーダー：瀬戸市役所学校教育課

## 事業実績調書

(1) プロジェクト名	子どもの個性を輝かせる支援体制プロジェクト
(2) プロジェクトの成果（※そのような成果が得られたかについて具体的に記載）	<p>今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策で、小中一貫教育として中学校ブロックの職員が大勢集まって行う「中学校ブロック巡回相談・支援指導検討会」はできなかったが、瀬戸市7中学校ブロックで1回ずつ実施ができた。小中一貫教育の観点から、中学校ブロックごとの小中学校の教員が集まって支援方法を相談、事例検討会等を実施することは大きな意味がある。引き続きコロナ禍でも、少しでも発達障害等、発達にかたよりがある子どもたちの支援が、とぎれることなく続いていくように、子どもの特性をしっかりと把握し、子どもの困り感に寄り添った支援を継続できるような体制を整えていく。</p>
(3) プロジェクト実施内容（※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載）	<p><b>【中学校ブロック巡回相談・支援指導検討会】</b></p> <p>幡山東小学校（常葉大学 松瀬留美子先生）5月21日（金）＜幡山中ブロック＞ 幡山西小職員7名・関係機関4名 計11名参加</p> <p>水野小学校（金城学院大学 今村友木子先生）6月3日（木）＜水野中ブロック＞ 水野小職員6名・関係機関2名 計8名参加</p> <p>品野台小学校（金城学院大学 二村 彩先生）6月3日（木）＜品野中ブロック＞ 品野台小職員12名・関係職員1名 計13名参加</p> <p>原山小学校（名古屋経営短期大学 木村拓磨先生）6月9日（水）＜光陵中ブロック＞ 原山小職員4名・関係職員2名 計6名参加</p> <p>にじの丘小学校（常葉大学 松瀬留美子先生）6月11日（金）＜にじの丘中ブロック＞ にじの丘小職員13名・関係職員2名</p> <p>東山小学校（金城学院大学 永原 知佳先生）6月18日（金）＜南山中ブロック＞ 東山小職員4名・関係職員2名 計6名参加</p> <p>陶原小学校（金城学院大学 川瀬 正裕先生）6月25日（金）＜水無瀬中ブロック＞ 陶原小職員5名・関係職員2名 計7名参加</p> <p>報告書より</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校外の機関と連携することは、様々な情報をもとに、あらゆる角度から支援方法を考えることができ、次のステップにつながる。継続して、連携を取っていきたい。</li><li>・巡回相談員の先生やその他の機関の方から児童の対応について具体的に教えていただき、担任にとって本児への支援の参考になった。今後は、これをもとにして授業を工夫して実践していく。</li><li>・些細な言動・行動についても見逃さず、記録に留めたり都度の情報共有を行ったりする。「困らせている本人が一番困っている」という受け止めを大事とすることを教えていただいた。</li><li>・本人の「困難感」がどこに起因するのか、それへの対応策をどのような見地からアプローチするのかという、現状分析が非常に重要である。教員としては、児童の状態を日々見ているようでも、なかなか深く分析するのは難しい。今回のような機会をいただくことで、教員側も分析の視点・現象の見方のバリエーションを増やすことができ、より様々な考えを持ちうる契機となった。</li><li>・日頃の指導の困り感に対して、大学の先生にアドバイスをいただき、ありがたかった。今後も続けてほしい。</li></ul>

#### (4) プロジェクトの今後の課題と展望

・新型コロナウイルス感染症の影響で、大人数が集まることができない中、本企画を進めていくことが難しかった。来年度以降についても見通しが立たないが、ICTを活用するなど工夫して、進めていけるようにしたい。